

2016 年 11 月 19 日 (土)・20 日 (日)

早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール

東京都新宿区西早稲田 1-20-14 地下鉄東西線「早稲田駅」徒歩 10 分

主催：早稲田大学人間総合研究センター・早稲田大学臨床死生学研究所

共催：日本臨床死生学会第 22 回大会



11月19日 (土)

14:40 開場

15:00 基調講演「『いのち』をものがたるとのこと」

森岡正博 (早稲田大学人間科学部教授)

16:00 特別講演「『ものがたり』を大切にできる医療とは」

佐藤伸彦 (医療法人社団ナラティブホームものがたり診療所所長)

17:20 閉会

11月20日 (日)

13:30 開場

13:50 特別講演「ALS の現場から見た生と死」

川口有美子 (NPO 法人 ALS/MND サポートセンターさくら会理事・日本 ALS 協会理事)

15:00 シンポジウム【下記に変更されました】

「障がいを持つ人の『いのち』のケアを考える」

演者：白井徳満 (社会福祉法人天童会・秋津療育園)、川口有美子、小野充一、扇原淳、辻内琢也、森岡正博

16:30 閉会

「いのち」の現場から考える

早稲田大学

人総研シンポジウム



入場無料。どなたでも
ご参加いただけます。

本シンポジウムは、早稲田大学人間科学部（所沢キャンパス）で行なわれている学際研究の成果を、一般市民・学生のみなさんに広くお知らせするものです。

連絡先：359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15 早稲田大学人間科学部 人総研シンポジウム「『いのち』の現場から考える」宛 メールアドレス：morioka@waseda.jp